

**令和6年度大学・高専機能強化支援事業**  
**(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)**  
**事業概要**

令和6年2月申請時点

**1. 基本情報**

大学名	創価大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	東京
大学全体の総収容定員	6,184名	※令和5年5月1日時点	
学部学科組織構成	経済学部（経済学科）、経営学部（経営学科）、法学部（法律学科）、文学部（人間学科）、教育学部（教育学科、児童教育学科）、理工学部（情報システム工学科、共生創造理工学科）、看護学部（看護学科）、国際教養学部（国際教養学科）		
事業計画名	創価大学理工学部 グリーンテクノロジー学科（仮称）設置計画		

**2. 事業概要**

本学では、理工学部新たに**グリーンテクノロジー学科**（入学定員60名、収容定員240名）を令和8年度に新設することを予定している。併せて、既存の文系学部の改組等を含めた入学定員・収容定員の見直しを行い、さらなる教育体制の充実を検討する。

新たに設置するグリーンテクノロジー学科では、これからの社会が求める**サーキュラーエコミーの実現に寄与しSDGs達成に貢献する人材の育成**を目指し、低炭素循環社会の実現に資する知識と思考力、低炭素技術とプロセス設計、それらの理念や技術の社会実装に関する環境・法律・経済経営にかかる**学際的な文理融合教育**を行う。具体的には、「**低炭素技術**」、「**生物生産・食品**」、「**国際協力・経営・アントレプレナー**」の3つの分野に関する科目と、**国外の交流校との連携科目**を通じ、最新の創エネルギー・省エネルギー技術を理解し、これを計画、実践する力、デジタル技術やセンシング・自動化技術（IoT）を活用した先進的な生物生産プロセスの構築に寄与できる能力、国際協力や新規事業、起業などを立案できる実践的な力を養成する。これらにより、これからのグリーンテクノロジー産業に寄与できる人材の育成を図る。

**3. 本事業で新たに設置等を行う組織**

改組予定年度	令和8年度				
認可申請・届出の別	届出				
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）				
設置等組織名	理工学部グリーンテクノロジー学科（仮称）				
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-
当該学部等の所在地	東京都八王子市				
入学定員	新設予定				
収容定員	新設予定				
入学定員の増加数	60名				
他学部等の入学定員の減少数	60名				

事業計画名 創価大学理工学部 グリーンテクノロジー学科(仮称)設置計画

基本情報

改組予定年度	令和8年度	設置等組織名	理工学部グリーンテクノロジー学科	入学定員増数(合計数)	60名
所在地	東京都八王子市	改組内容	既存学部における学科の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わない)	入学定員減数(合計数)	60名

グリーンテクノロジー学科の教育・カリキュラム編成

- ①世界に開かれた国際性豊かな学科として、**イングリッシュ・トラック**を導入し、海外連携科目を開講。
- ②省エネルギー・創エネルギー技術の**社会実装化**を目指すための**文理協働教育**を実施。
- ③カーボンニュートラル事業や新たな炭素管理産業を牽引する人材を育成する**社会連携科目**を設置。

<学びの3分野>

「低炭素技術」、「生物生産・食品」、「国際協力・経済経営・アントレプレナー」

社会的ニーズとグリーンテクノロジー学科設立の意義

2050年にかけて、持続可能且つ世界の二酸化炭素排出量を大幅に削減する広範囲のエネルギー・トランスフォーメーション(EX)が加速する。二酸化炭素を回収・利用・除去する様々なカーボンニュートラル事業が展開され、新規のエネルギー生産技術や生物生産プロセスの社会実装化が必要となる。

政府が進めるグリーン・トランスフォーメーション(GX)において、農業・水産といった生物生産プロセスの自動化や水処理・廃棄物処理における省エネ・創エネ技術を扱える技術者の養成が急務であり、これらの分野を教育・研究する「グリーンテクノロジー学科」を開設する。

学びの3分野と人材育成



生物生産・食品

農業や水産業の分野にセンシング・自動化技術(IoT)を取り込み、先端的な生物生産プロセスの構築に寄与できる能力を養う。



低炭素技術

カーボンニュートラルな社会の構築を目指して、最新の省エネルギー・創エネルギー技術を理解し、それらを設計・実践する能力を養う。



国際協力・経済経営・アントレプレナー

様々な低炭素技術や生物生産プロセスの社会実装化を目指し、実社会への技術・プロセス・製品・商品の還元により、国際協力や新規事業、起業などを立案できる実践的な力を涵養する。

【低炭素技術】

水処理工学実験、生態環境工学、廃棄物処理科学、地球科学などの科目



【生物生産・食品】

農場実習、植物工場実験、プランクトン工学実験、土壌学、センシング技術、食品工学などの科目



【国際協力・経済経営】

環境経営学、サプライチェーン、ベンチャービジネス論、情報処理などの科目



連携

連携

連携

**学内:** 理工学部共生創造理工学科/情報システム工学科・プランクトン工学研究所  
**海外:** バジャドリッド大学(スペイン)・マレーシアプトラ大学・トレンガヌ大学(マレーシア)・スラバヤ工科大学(インドネシア)・グアナファト大学(メキシコ)

**学内:** 国際教養学部・経済学部・経営学部  
**海外:** マラヤ大学(マレーシア)

- ・海外連携科目: イングリッシュ・コミュニケーション、海外招聘教員科目、海外インターンシップなど
- ・社会連携科目: 企業経営論、知的財産、企業インターンシップなど

グリーンテクノロジーの教育と研究を通し、カーボンニュートラルな社会の構築と持続可能なサーキュラーエコノミーの実現に寄与し、SDGs達成に貢献する人材を育成する。

- ・多様な入試制度(総合選抜入試、指定校推薦入試、連携高校推薦入試、一般入試など)の導入
- ・イングリッシュ・トラックの導入により、海外からの留学生の積極的な受け入れ

多様な  
入学者の  
確保



外部  
資金の  
獲得

- ・学内研究支援部局とURAIによる外部資金調達フレームの強化
- ・企業・自治体とのカーボンニュートラル事業の立案・受託の強化
- ・知的財産の技術移転と社会実装化事業の促進